

LE FRENCH FLAIR
SE PARTAGE



#EXPLOREFRANCE
ラグビーワールドカップ2023フランス大会

プレス資料



Explore
France™



ご挨拶

フランスは未だかつて無いほど多くの重要な国際スポーツ大会を迎えようとしています。アルペンスキー選手権大会が2023年クルシュヴェルとメリベルで、同じ年にラグビーワールドカップフランス大会があり、2024年にはオリンピック・パラリンピックパリ大会も開催されます。フランス各地が主要なスポーツ競技を繰り広げる舞台となり、同時に祝祭気分にあふれ、和気あいあいとした多くの出会いの場となることでしょう。

無論これらのイベントは非常にポジティブなインパクトがあり国にとっては絶好の機会となります。一致団結したフランス、世界に開かれたフランスを象徴するスポーツイベントの数々は、多くの分野で変化と刷新を遂げるその力強さを見せる場となるのです。これらのイベントを通じてフランスが実践する持続可能性のための行動、人員養成と雇用の下支え、環境の尊重と保全、どのような人も受け入れる姿勢などが世界に示されることでしょう。観光の面から見れば旅行目的地としてのフランスの魅力をより強化し、フランス各地の観光客受け入れの質を向上させるとともに、その道のプロが持つビッグイベント開催のノウハウを世界に示し、各国からの観光客がフランスにより長く滞在することにより経済効果を最適化する機会となります。

フランス観光開発機構は、これらの重要なスポーツイベントの組織委員会や開催地と協力して、持続可能な遺産の構築にかかります。同機構の各国支局は、フランスの秀逸さやその観光的魅力を世界に広めるプロモーション活動を拡大して行きます。実際こうしたビッグイベントは真の「旅への誘い」となり、フランスやその文化遺産・自然遺産を発見また再発見しに来たい、フランス式ライフスタイルやその美食を共有したい、そしてフランス人との絆を作りたいと考える人も多いでしょう。

2023年のラグビーワールドカップフランス大会には国外から約60万人が訪れ、大会の様子は世界209カ国で放送されます。これはフランスのライフスタイルやその国土、土地柄を世界に見せるまたとないショーウィンドーになることでしょう。

既に好調な予約状況が示すとおり皆が心待ちにしているこのイベントにより、遠国からの観光客の戻りにも拍車がかかるでしょう。フランス観光開発機構は、フランスの旅行業各位に最適な支援を行い、来訪者がより良いフランス滞在経験ができるようお手伝いいたします。

持続可能なレガシーを築き上げ、世界をお迎えし、フランスを、そしてその創造性と大胆さ、すなわち私たちのフレンチ・フレア (french flair) をシェアするという考えに心が逸ります。



CAROLINE LÉBOUCHER
フランス観光開発機構
総裁 カロリーヌ・ルブシェ



目次

概要 p.4

数字で見る
ラグビー ワールドカップ フランス大会 p.7

ラグビーワールドカップ
開催都市でのアクティビティと観光

- p.8 リール オード・フランス地方 p.12
- p.14 リヨン
- p.18 サン・テティエンヌ オーヴェルニュ=ローヌ=アルプ地方 p.22
- p.24 ニース プロヴァンス=アルプ=コートダジュール地方 p.32
- p.28 マルセイユ
- p.34 トゥールーズ オクシタニー地方 p.38
- p.40 ボルドー ヌーヴェル=アキテーヌ地方 p.44
- p.46 ナント
- p.48 サンドニ/パリ

フランスの見どころ p.51

開催都市の地方を巡る p.52

p.54 広報担当一覧

p.55 パートナー団体





ラグビーワールドカップフランス大会は2023年9月8日から10月28日まで開催されます。
フランス国内10都市(リール、リヨン、サン・ティエンヌ、ニース、マルセイユ、
トゥールーズ、ボルドー、ナント、パリ/サン・ドニ)の9ヵ所のスタジアムで
48試合が繰り広げられ、国外からも60万人をお迎えする予定です。
彼らは52日間にわたるラグビーの祭典で、
暖かく和気あいあいとした雰囲気を共有できるでしょう。

フランスで第10回ラグビーワールドカップが開催される2023年は、
このスポーツが生れてちょうど100年に当たる年です。
イギリスのパブリックスクール ラグビー校の学生ウィリアム・ウェブ=エリスが
ボールを手を持って走るという「ルール違反」をしたのが始まりとされています。

スポーツ競技というよりも、一味ちがイベントを創り上げる意思とでも言いましょうか。
ラグビーのように一味ちがスポーツ、すなわちその強さの源泉は連帯、分かち合い、
自他の違いを受け入れる精神、自己犠牲、集団への貢献、
他者への尊敬なのです。

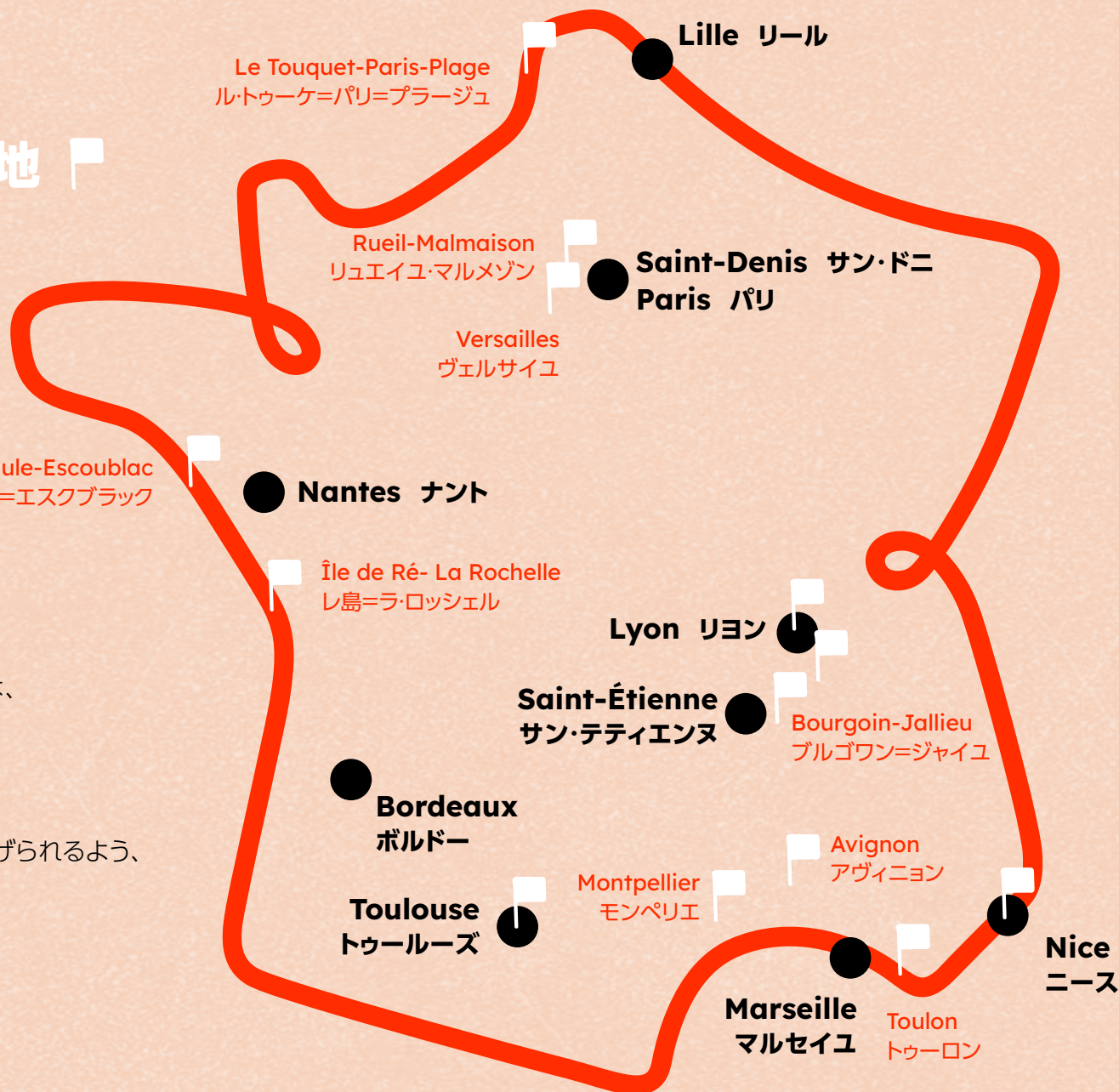
ラグビーワールドカップ2023は単なるスポーツの枠を超え、
社会全体、すべての国土、全ての土地を巻き込むイベントです。
フランス観光開発機構は、
試合開催地となる地方や都市の観光局と協力して、
この機会に世界中からやって来る人々に
スポーツと情熱に満ちた滞在を提供します。



● 試合開催地10都市と

多くのベースキャンプ地

ラグビーの一大祭典の機会に、それぞれの強みと独自性をもって試合開催地に選ばれたフランス各地の都市は、フランスの持つ歴史文化自然遺産のショーウィンドーとなるでしょう。世界中から訪れる観戦客と代表チームには、ワールドカップがラグビー場の外でも繰り広げられるよう、飛び切りのおもてなしをご用意しています。





世界を迎える フランス

60万人の
外来客を予想



250万枚を超える
観戦チケット



数億人の
テレビ観戦者



フランス全土で 展開する大会



5大陸から来る
20チームが
フランス全土で試合



試合開催地10都市



一大イベント



史上10回目の
ワールドカップ



52日間に
わたる祝祭



48試合



660人の
選手



Lille リール

文化と祝祭を支える柱、プロップ的存在の街

このエキサイティングな町を知りたければ、ラグビーワールドカップ2023を機に、実際ここを訪れてみるのが一番です。

展示会で総毛立つような大発見？ 毎年9月の名物古道具市で信じられないような掘出し物さがし？ 友人たちと居酒屋に集い地ビールで乾杯？ 本当に選択に迷いますね！

パリ、ロンドン、ブリュッセルを結ぶ三角の中央に位置してアクセスも簡単なリール都市圏は、シティ派が楽しい週末を過ごすためのすべてがそろっています。さまざまな文化遺産、歴史を感じる街並み、アイデアがいっぱいのブティック、フレンドリーな人々、非常に興味深いミュージアム、そして散策と深呼吸にうってつけの公園などがあります。



→ 詳しくはこちら



地図と試合日程

スタジアムへのアクセス



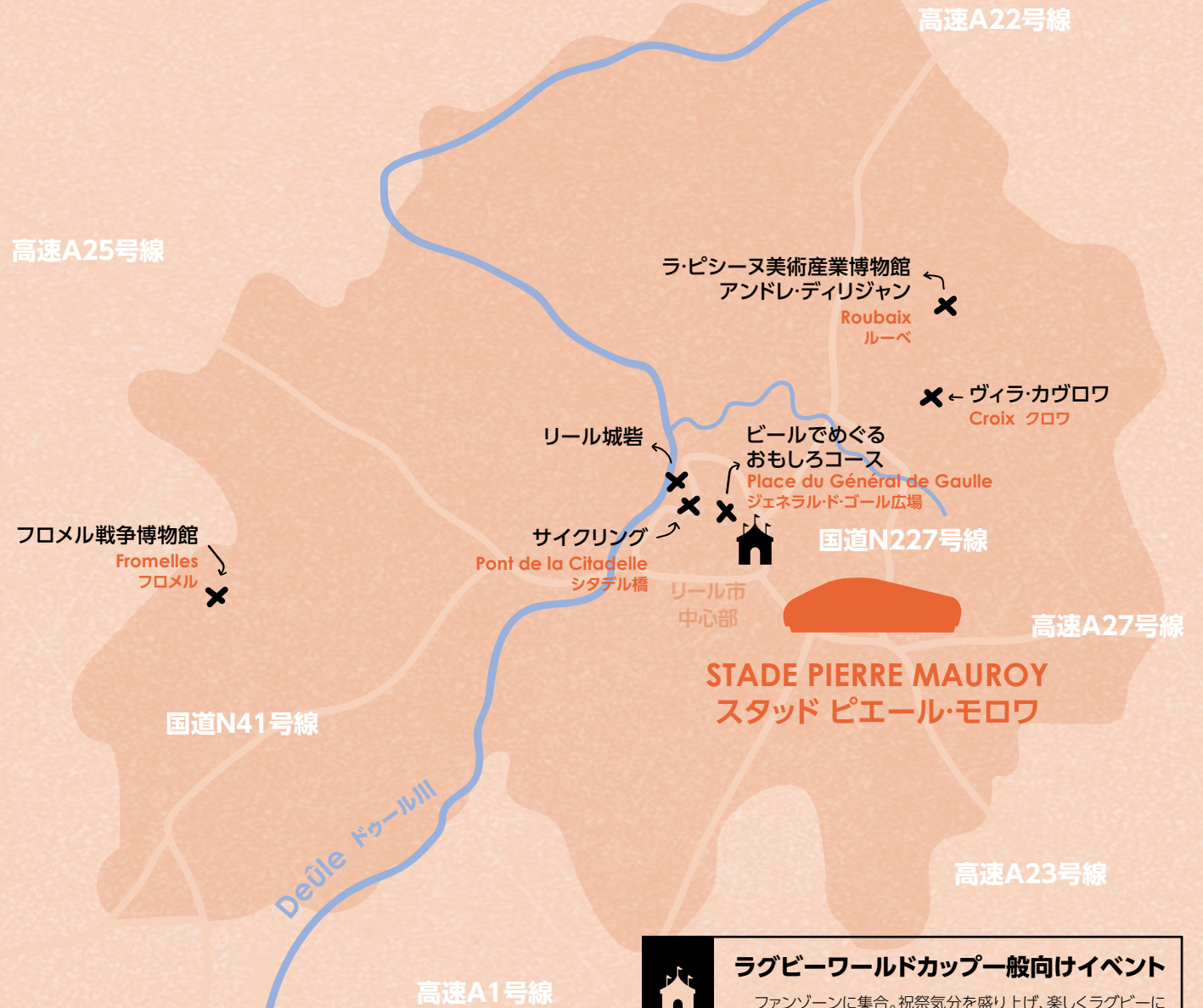
国道N227号からブルク通り(Boulevard du Breucq)
または県道D506号からトゥルネ通り(Boulevard de Tournai)
高速A1、A27、A25、A22、A23号からもアクセス可



スタジアム周辺に駐車場あり
A2駐車場に身障者用駐車スペースあり



地下鉄1号線Cité Scientifique / Professeur Gabillard
または4 Cantons / Grand Stade 下車
または地下鉄2号線Les Présで下車してバス
またはスタジアムまで無料シャトルバス



試合

- プール A フランス 対 ウルグアイ
9月14日(木) 21:00
- プール D イングランド 対 チリ
9月23日(土) 17:45
- プール B スコットランド 対 ルーマニア
9月30日(土) 21:00
- プール D イングランド 対 サモア
10月7日(土) 17:45
- プール B トンガ 対 ルーマニア
10月8日(日) 17:45



ラグビーワールドカップ一般向けイベント
ファンゾーンに集合。祝祭気分を盛り上げ、楽しくラグビーに親しむ場。革新的で環境に配慮したイベントいろいろ。入場無料。

試合前



L'échappée bière

ビールでめぐるおもしろツアー「レシャペ・ビエール」

ビールをテーマにしたアクティビティ。地図を片手に4つのバーを見つけ出し、ブラインドテイस्टングでクイズに答えていくツアー。リール旧市街の魅力的な小道をめぐり歩きながらできる、北フランスのクラフトビール入門です。ビール探求のコースで専門のバーや小規模な醸造所、ビール作りの職人技に出会えます。この散策をすれば、北国の人々が誇る先祖伝来のビール作りのノウハウに浸りきることができるでしょう。

→ 詳しくはこちら



Musée de la Bataille de Fromelles フロメル戦争博物館

ラグビーワールドカップフランス大会の期間中にリールでは5試合が行われます。この機会にフロメル戦争博物館では第一次世界大戦中のラグビーマンたちとその果たした役割に関する特別展を開催します。「彼らがかくも長い年月をかけて準備した試合」と題した記事が1919年発行のTimesに掲載されたように、ラグビー界はこの戦争で重い務めを果たしたのです。特別展ではこの苦しい時代と楕円球スポーツにまつわるさまざまな題材(各種の逸話、知られざる歴史情報、戦闘に参加したラグビーマンたちの伝記など)を扱います。特別展の開催期間は2023年7月から2024年2月まで。

→ 詳しくはこちら





Visite guidée de Lille en vélos hollandais オランダ式自転車でリールをガイド付き観光

リールの町は本物の「オランダ式自転車」(あるいはタンデム)でめぐることができます。アムステルダムと同様美しく楽しいサイクリングです。約2時間の散策では「水辺のリール」をテーマに町の主な見どころとその歴史を探訪します。ガイドも自転車で同行し、自分の大好きな場所や町の隠れた宝に案内してくれます。立ち寄る場所は10カ所で、その合間にスポーツと自然を楽しめるプログラムです。

→ 詳しくはこちら

試合後のお楽しみ

Bierbuik ビエルビューック

Bierbuikとはフラマン語で「ビールのためのお腹」を意味する男性名詞。この名前が殆どすべてを語っています。オーベルジュ・デュ・ヴェール・モンとブランポの最新の姉妹店が選んだ場所はリヨン旧市街の中心、ロワイヤル通り19番地。和気あいあいとしたクールで楽しいこの店の発案者はシェフのフローラン・ラデン、傍らに寄り添うのはいとこでヴェール・モンのシェフ、クレマン・デュブリュルと幼馴染のケヴィン・ローラン。店の目指すところは、おいしく健康的なローカルフードを昼も夜も(最低12時まで)飲み物込み10ユーロほどで提供すること。ビエルビューックは行きやすく和気あいあいとした新世代の居酒屋。気取らないお手ごろ価格の料理は薪の火で調理しています。三人の仲間たちはここで自家製のビールも提供しています。料理人が作る今だけ、ここだけのちょっと変わったビールも地元産の原料がベースです。



→ 詳しくはこちら



Grand Scène グラン・セーヌ

グラン・セーヌは町の中心部にあるリールのストリートフードの殿堂です。総床面積1600㎡、2フロアの店内では、地元の産品を使ったバラエティ豊かな料理を手ごろな値段で楽しめます。バーカウンターも2つあり、着席400名を含む800名を収容できます。フロア中央に各店共有のテーブルが配置され、それを囲んでレストランが10店舗。この地方出身や他地方からのシェフたちが、多様性と郷土の特長が混然一体となったハイレベルな料理を提供しています。フランスのピザ、皆でシェアできるメッセ(東地中海の軽食)、豪華なバーガー、ハルミチーズのベジタリアンホットドッグ、ギリシャのスプラキ(肉の串焼き)、大人向け、子供向けのお菓子…。単なるレストランというよりも、生活の場、文化的な場。ステージも設置されており、一年を通してさまざまなイベントも行っています。

→ 詳しくはこちら



足をのぼして



HAUTS-DE-FRANCE オー・ド・フランス地方

フランクな友情

リールとパリ間の理想的な位置にあるオー・ド・フランス地方は、人の気質が親しみやすく暖かいことで知られています。ここでは時間がゆったりと流れ、誰もがマイペースで自分の好みや希望に合わせた独自のアクティビティを楽しめます。

文化的アクティビティなら超クリエイティブで常に刷新を続けている分野、スローアート、五感を使った見学、新しい美術館、その他にもオリジナリティに富んだアート活動を提案しています。この地方には6カ所の素晴らしい大聖堂と数多くの歴史建造物があり、ユネスコの世界遺産にも登録されています。戦争の記憶をたどる見どころとしては、第一次世界大戦に関するものが多くあり、中でも有名なのはティプヴァル Thiepvalの記念碑、アノー（リング型）記念館 Anneau de la Mémoire、サー・ジョン・モナシュセンター Centre Sir John Monashです。

オー・ド・フランス地方には、ワールドカップの試合の合間に自然を思い切り楽しむ

のも可能です。5つの地方自然公園、ソンム湾とドゥー・カップの2つの「フランス名勝地 Grands Sites de France」、そこにはまもなく200キロの海岸線と10万ヘクタールの国有林が広がるフランドル砂丘も加わる予定です。

ここはまた美食と祝祭の地でもあり、ヘルシーで高品質な食材がおいしく調理されています。

オー・ド・フランス地方は2023年にフランス初の「ヨーロッパ美食地方」に選ばれました。

→ 詳しくはこちら



Région Européenne de la Gastronomie ヨーロッパにおける美食地帯

オー・ド・フランス地方のレシピはどれもおいしく、ボリューム満点で偏りがありません。この地方のシェフたちは海の恵みと地の恵みの多様性と特長を生かした料理を作っています。地元の食材はどれもとびきり新鮮で美味。香りの強いチーズ、賞を取ったビール、農家直送のジャガイモや梨、ティルク Tilques産のニンジン、サントメール Saint-Omer産カリフラワー、ビーツ、ロコン Locon産ニンニク、菩提樹の蜂蜜、エンダイブ、ティエラシュ Thiéracheのマロワルチーズ、薫包みのトムチーズ、地ビール、ガトーバテュ(焼き菓子)などなど。

→ 詳しくはこちら



LE TOUQUET-PARIS-PLAGE

ル・トゥーケ=パリ=プラージュ

イングランド代表の ベースキャンプ地

イングランド代表チームは、極上のビーチリゾート、ル・トゥーケ=パリ=プラージュに迎えられます。オパール海岸の魅力的な保養地は、広大なエリアとヨードを含んだ空気が好きな人にはパラダイスです。



→ ル・トゥーケ=パリ=プラージュについてはこちら



Terre d'Histoire, de résilience et de paix 歴史、復興、そして平和の地

オー・ド・フランス地方は戦争の記憶の共有と、国境を越えた博愛精神の表明により、平和の普遍的価値観を伝え続けています。この地方はまたフランスの歴史の生き証人でもあります。フランスの魂はここで作り上げられたともいえるのです。たとえフランス語がヴィレ・コトレの勅令で公用語に定められたのが1539年だったとしても。城から宮殿まで、大聖堂から鐘楼まで、アール・デコからフランドル様式まで、ゆっくり時間をとって眺める人には尽きせぬ発見と驚きがあります。オー・ド・フランス地方の魅力はこれに留まりません。ブラドリー、レドリー(屋根裏をカラにする)と呼ばれる古道具市、さらにはカーニバルで、人と出会い、分かち合い、ともに楽しむことができるのもこの地方の大きな魅力です。

→ 詳しくはこちら



Un grand bol d'air おいしい空気を胸いっぱい

オー・ド・フランス地方の海岸では心休まる散策ができます。美しい砂浜や崖、アザラシなど野生的な自然の風景がブレ砂丘 Bray Dunes とメール・レ・バン Mers les bains の間の200キロにわたり続いています。世界で最も美しい湾のひとつ、ソム湾の成す典型的な装飾と忘れがたい風景もぜひ。最後に、オー・ド・フランス地方はリラックスして心も開放したい人には天国です。カイトサーフィンやウィンドサーフィン、ハイキングなどのあとは、サロンやスパで心地よいトリートメントが待っています。

→ 詳しくはこちら





Lyon リオン

歴史と美食で魅了する町

比類ない歴史遺産の数々、ユネスコの世界遺産にも登録されたいくつもの界限、2000年前から存在するリオンは、訪れる人を歴史の重みで圧倒することでしょう。

この町を知る一番の方法?多くの可能性があります。セグウェイ、電動自転車、船…

大事なのはゆっくり時間をとって住民と交流し、リオンのエスプリにふれること。

リヨンのもうひとつの特長、それはなんといっても食の楽しみです。周辺の土地の優れた産物を巧みに利用して多種多様な料理を提供しています。食卓を選ぶにもブション(リオンの典型的なビストロ)、ミシュランの星付きレストラン、新進気鋭のシェフの店などチョイスは実に豊富です。





→ [詳しくはこちら](#)




地図と試合日程

スタジアムへのアクセス

 国道N346号線(Rocade Est バイパス)7番出口
または高速A432号線3番出口
Meysieu Les Panettes駐車場

 トラムT7号線Décines OL Vallée下車
または tram T3号線Décines Grand Large下車
(下車後徒歩700メートル)

 リヨンから自転車道
スタジアム北Nord du Stadeからアクセス
駐輪場は監視付き、無料

高速A89号線

高速A6号線

高速A46号線

高速A42号線

高速A432号線

テット・ドール公園

リヨン中央市場
ポール・ボキューズ

リヨンの
ローマ劇場跡

リヨ市中心部

コンフリユアンス
美術館

カヤックとカヌー




OL STADIUM
OLスタジアム



高速A43号線



高速A46号線



高速A7号線

試合

グループ C  ウェールズ 対  オーストラリア
9月24日(日) 21:00

グループ A  ウルグアイ 対  ナミビア
9月27日(水) 17:45

グループ A  ニュージーランド 対  イタリア
9月29日(金) 21:00

グループ A  ニュージーランド 対  ウルグアイ
10月5日(木) 21:00

グループ A  フランスE 対  イタリア
10月6日(金) 21:00



ラグビーワールドカップ一般向けイベント

ファンゾーンに集合。祝祭気分を盛り上げ、楽しくラグビーに親しむ場。革新的で環境に配慮したイベントいろいろ。入場無料。

→ 詳しくはこちら

試合前



Food tour lyonnais リヨンでフードツアー

美食を切り口にリヨンツアーなら、フードツアー・リヨネFood Tour Lyonnaisをお勧め。おいしいものの試食のみならず、リヨン名物の生産者、シェフらとの出会いも同時に楽しめます。ポール・ボキューズ中央市場(リヨンの美食の殿堂)からスタートして、まずはリヨンの産物の匂いと味覚にあふれ、おいしそうな品々が並ぶ荷台を見て回ります。試食するのはサン・マルスラン(チーズ)、ロゼット・ド・リヨン(サラミンソーセージ)、パテのパイ包みまたはプラリーヌのタルト。こうしてリヨンの最高の生産者たちの熱意に触れるとともに、その製造法の秘密に迫ります。スポーツも食べるのも好きならば、このフードツアーを電動自転車で行うのも可能です。丘の上からのパノラマビューや水辺の散策の合間にいろいろな試食を楽しむのもよいのでは。

→ 詳しくはこちら



Lyon, 2000 ans d'histoire リヨン、その2000年の歴史

ユネスコの世界遺産にも登録されたリヨンの町は2000年を越える歴史を秘め、その多様さには驚かされます。さまざまな建築様式は町がたどった各時代の生き証人。ルグドヌム Lugdunum (リヨンの古称) の遺跡とローマ劇場跡、リヨン旧市街に見られるルネサンス期の狭い通りと家並み、格式あるプレスギル地区の19世紀の建物。

リヨンをめぐるなら徒歩が一番です。解説付き観光コースなら、ガイドは自分の町の建築や歴史の豊かさを熱く語ってくれるでしょう。トラブール(通りと通りをつなぐ抜け道)を通れば、普段なかなか見られない建築の細部まで見ることができます。リヨンの文化に浸るなら、町の歴史をたどる24のミュージアムは必見です。たとえばリュミエール博物館では、リヨン出身で映画を発明したリュミエール兄弟の生涯が詳しく紹介されています。

→ 詳しくはこちら



Lyon depuis l'eau 水上から見るリヨン

リヨンの魅力は水上から見るとよくわかります。町の中心部にはソーヌ川とローヌ川が流れ、コンリュアンス(「合流点」の意)地区でひとつになります。電動ボートで水上を行けば、都心の大通りの喧騒から遠く離れて、歴史遺産もまた一味違った姿を見せてくれるでしょう。水上でロマンチックなディナーをお望みなら、船上レストラン「エルメス Hermès」が季節の新鮮な食材を使ったご馳走を提供してくれます。スポーツが何より好きならカヌーやパドルボードを借りて水辺のこんなにも美しい光を眺めるのがおすすめです。

→ 詳しくはこちら



試合後の楽しみ

Les Pubs Wallace パブ・ヴァラス

スポーツの世界に完全に没頭するなら、パブ・ヴァラスはマストです。熱く賑やかな雰囲気でお観戦できます。試合のある日は皆がここに集まってジャンボスクリーンで観戦し、おいしい生ビール(クラフトビール多数)と最高の英国パブの名にふさわしい料理(フィッシュ&チップス、バーガー、サラダ…)を楽しめます。

リヨンにはヴァラスが4店舗あり、ラグビーのサポーターたちの大きな楽しみとなりそうです。

→ 詳しくはこちら



Les brasseries Ninkasi ブラッスリー ナンカジ

ナンカジの11ヵ所の醸造所は、世界からラグビーワールドカップ観戦に集まるファンに、楽しく美しいスペースを提供します。人々はここで出会い、試合をコメントし合い、自家製ビールや地元の新鮮な食材でできた食事を楽しむのです。大会の全期間を通じてパーティーやコンサートが開かれます。ブラッスリーの場所のチョイスは豊富です。ローヌ河畔の素晴らしい眺めを望むワールドカップ村の近く、あるいは町のど真ん中でも…

→ 詳しくはこちら



LYON リヨン

ニュージーランド代表の ベースキャンプ地

伝説のオール・ブラックスを迎えるのはリヨン
市民にとってなんと感動的で名誉なこと!





Saint-Étienne

サン・テティエンヌ

創造性と靈感のスクラム

サン・テティエンヌはユネスコのデザイン都市に認定されたフランスで唯一の都市です。市内にはクリエイティブ地区がひとつある他、旧兵器工場内にシテ・デュ・デザイン Cité du design が設けられ、展覧会や文化イノベーションの場となっています。

このクリエイティブ都市でもうひとつ見逃せないのはル・コルビュジエの建築群です。この天才フランス人建築家の作品をヨーロッパで最も多く有するのがサン・テティエンヌなのです。

創造以外にサン・テティエンヌ市民の関心事といえば、丸い球（サッカー）への情熱。これは隠しようがありません。それでも大会期間中はスタジアムで、街中で、ラグビーワールドカップ熱が感じられることでしょう！



→ 詳しくはこちら



地図と試合日程

スタジアムへのアクセス



高速A72号線14番出口Stade Geoffroy-Guichard
一般用駐車場多数あり



Saint-Étienne Châteaucreux駅からトラムT3号線
Geoffroy Guichard - Musée des Verts下車



Place CarnotからバスM9系統で Rue des Acières下車
または(夜間)S9系統で Rue des Acières下車



ロワール峡谷
自然保護区域

高速A72号線

Musée d'art moderne
et contemporain

STADE GEOFFROY-GUICHARD
スタッド・ジョフロワ・ギシャール

高速A47号線

サッカー博物館 (ASSE)

シテ・デュ・デザイン

ショコラ・ヴェイス アトリエ

クリオ - 鉱山博物館

サン・ティエンヌ
中心部

芸術産業博物館

ブラッスリー・
ステファノワーズ

ピラ地方自然公園

ル・コルビュジエ
建築群

国道N88号線

県道D1082号線

試合

グループ A イタリア 対 ナミビア
9月9日(土) 13:00

グループ C オーストラリア 対 フィジー
9月17日(日) 17:45

グループ D アルゼンチン 対 サモア
9月22日(金) 17:45

グループ C オーストラリア 対 予選トーナメント勝者
10月1日(日) 17:45



ラグビーワールドカップ一般向けイベント

ファンゾーンに集合。祝祭気分を盛り上げ、楽しくラグビーに
親しむ場。革新的で環境に配慮したイベントいろいろ。入場無料。

試合前



Des ateliers design pour tous みんなのためのデザインアトリエ

サン・テティエンヌを知るにはアトリエ体験も良い方法です。シテ・デュ・デザイン内にあるカルチャーセンター「カバンヌ・デュ・デザイン Cabane du design」は自分で作業がしてみたい子どもと大人のために開かれています。より食いしん坊な人にはアトリエ・ヴェイス、1882年創業の高級ショコラ Haut Chocolat®はいかがですか。このアトリエでは誰もが名ショコラティエになって自分だけのデザイン板チョコを作ることができます。ひと休みしたければ、ビール作りに情熱を傾けるベンジャミンとピエール=リュックが創業したブラッスリー・ステファノワーズ Brasserie Stéphanoiseへ。高品質な原材料を地元のパートナーから短距離輸送で手に入れる。見事な価値観の一致がなせる業です。サン・テティエンヌの街と住民気質を理解するための仕上げには、町のグリーターをひとり頼んで、街中でも大自然の中でも和気あいあいの散策のひとつときを過ごしましょう。

→ 詳しくはこちら



Le génie de Le Corbusier 天オル・コルビュジエ

都市の中に都市を作る、そんな途方もないプロジェクトの発案者は度外れた建築家ル・コルビュジエです。サン・テティエンヌの西郊外フィルミニ・ヴェール Firminy-vertにあるル・コルビュジエ建築群は、建築に詳しい人も好奇心の強い人も満足させてくれます。多彩な色の廊下を持つユニテ・ダビタシオン(集合住宅)、円錐形の風変わりな教会、凹型の屋根を持つ文化会館(ユネスコの世界遺産に登録されたル・コルビュジエの17の建築物のひとつ)、階段教室形客席のスタジアム、そしてプール。ル・コルビュジエの持つ多様性が最大限に見られる場所であり、興味深い逸話も多数あります。たとえばここはル・コルビュジエの作品数において世界で第2位です!

そしてもっと驚くことが。ここの文化会館の窓は音楽の窓です! ル・コルビュジエの弟子で音楽家でもあるクセナキスがガラス窓を楽譜に見立て、リズムを感じるような不均等なスペース配分にしたのです、子どもや家族連れはその場で何らかの創作活動のレッスンも受けられます。

サン・テティエンヌに戻ったらミュージアム巡りもお忘れなく。鉱山博物館、近代現代美術館、芸術産業博物館、ジョフロワ・ギシャルスタジアム内の「緑の博物館」(地元のプロサッカークラブAS サン・テティエンヌの緑のユニフォームにちなんで)

→ 詳しくはこちら



SAINT-ÉTIENNE サン・テティエンヌ

オーストラリア代表の
ベースキャンプ地

スポーツ魂を持つ町サン・テティエンヌは、オーストラリアの選手たちに会えるのを楽しみに待っています!





Une nature éblouissante à deux pas de la ville 町を一步出れば まばゆい大自然

サン・ティエンヌの中心部からほんの10分ほどでピラ山に着くと、そこには700平方キロにもわたる山々と山林が広がります。標高1400メートルの地方自然公園内最高峰で、町とはがらりと変わった風景を楽しんでください。ここではアクティビティにも事欠きません。スノーシューを歩いて雪上歩き、カニ・ランド (cani-rando 犬と人をロープでつないで山歩き)、オフロードキックボード (trottinette tout terrain)、そして最も冒険好きな人にはヴィア・フェラータ (ワイヤーなどの固定設備を備えた登攀コース) やパラグライダーも。中世のロシュタイエ城 (château de Rochetaillée) の小石が徒歩や自転車で散策する人々を迎えてくれます。グッフル・ダンフェール Gouffre d'Enferの散策もおすすめの自然スポット。地元サン・ティエンヌの人々がお気に入りの日曜日の散策コースです。ピラ山 Le Pilatはまた「フランスの最も美しい村」のひとつサント・クロワ・アン・ジャレーズ Sainte-Croix-en-Jarezの美しい背景にもなっています。ここは14世紀に僧院のあった場所で、古い歴史を感じさせる村では尋ねる人や家族を隣人のように暖かく迎えてくれます。遠回りしても立ち寄り価値がありそうです。

→ 詳しくはこちら

試合後のお楽しみ

La Fabuleuse Cantine ラ・ファビュルーズ・カンティヌ

レストラン「ラ・ファビュルーズ・カンティヌ」はいかにもサン・ティエンヌらしい場所で、町の必見みどころの中にあり、遠回りしてでも行く価値があります。というのは、町で最もクリエイティブな界隈、サン・ティエンヌの旧武器製造工場に作られたシテ・デュ・デザインにあるレストランだから。古い建物に再び命が宿り、なかなか他では食べられない食事を出すユニークな場を提供しています。食品ロスから救われた食材は加工され、価値を高められてクリエイティブで(かつ有機素材にこだわる)料理に生まれ変わります。この店はいつ行くのが一番よいでしょう? コンサートのタベや定期的で開催されているイベントがあるときにどうぞ!

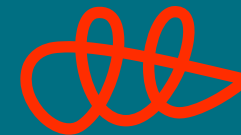
→ 詳しくはこちら



Les Halles Mazerat レ・アール・マズラ

レ・アール・マズラ (マズラ市場) が最初に開業したのは1872年のことでした。それが改装再オープンしたのは2021年。町のど真ん中でトラムの沿線という立地、美しくまた和気あいあいとした雰囲気この市場は、豊かで多様な地元の産品への回帰をもたらしています。いずれもこの地方のレストラン、パン屋、ケータリング、魚屋、ロースト肉屋、八百屋、チーズ屋、そして製菓店が一堂に会して凝縮したサン・ティエンヌのスタイルを提供しています。観戦前にテラスか相席のテーブルで一杯、あるいは定期的で開催されるコンサートやイベントを楽しむには理想的な場所です。

→ 詳しくはこちら



足をのばして



AUVERGNE-RHÔNE-ALPES オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方

山から山へ連なるパス

オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方には実に多彩なデスティネーションがそろっています。アルプス山脈とオーヴェルニュ山地を擁するこの地は、ウィンタースポーツにも、マウンテンバイクやハイキングなど夏のアウトドア活動にもパラダイスといえます。冬季オリンピックも1924年のシャモニー、1968年のグルノーブル、そして1992年のアルベールヴィルと三度も開催されています。この地方ではのびやかな空気と目くるめく感動に包まれて、自然に向かって開かれた暖かなライフスタイルを紡いでいます。ヨーロッパの最高峰モン・ブランはアルプス山脈と周囲の風景を見下ろし、ユネスコの世界自然遺産にも登録されたオーヴェルニュの火山群

は、強烈な感動を求める人も瞑想に耽りたい人も魅了しています。でも旅はそれだけに留まりません。食の見どころを連ねた観光ルート「美食の渓谷 (Vallée de la Gastronomie - France®)」でグルメめぐりもしなくては。これはボージョレのワイン街道からラベンダー香のドローム・プロヴァンサルに至る五感の旅。そこそこに魅力あふれる町や村が点在しています。ヴィシー、エヴィアン・レ・バン、ペルーージュまたアヌシーなどは訪れる人を夢見心地にさせるでしょう。

→ 詳しくはこちら



Le 1^{er} voyage gourmand à travers la Vallée de la Gastronomie - France® 初めてのグルメ旅行はヴァレ・ド・ラ・ガストロノミー - フランス®で

ヴァレ・ド・ラ・ガストロノミー - フランス® (La Vallée de la Gastronomie - France®) はシンプルな楽しみとフランス流ライフスタイルをめぐる旅、五感に訴える驚きに満ちた旅をご提案します。旅の行程でローヌ川、ソーヌ川が谷間を流れ地中海に至る間の各地の土地柄の多様性や食とワインの至高の遺産の証しを知ることができます。この谷を横切ってユネスコ世界ジオパークに指定されたボージョレ地区に行けば、ワイン街道沿いの保全された風景のバラエティの豊かさには驚くばかりです。続いてドローーム県でひと休みするなら土地の美味しいものをぜひ味わいましょう。ロマンのポーニュ(リング型パン菓子)、ニヨンスのオリーブ油、ピコドンチーズ、トリュフにラベンダー。ヴァランスではかの有名な女性シェフ、アンヌ＝ソフィー・ピックの店へ。世界的に知られる三つ星レストランで彼女の超クリエイティブな料理を堪能します。

→ 詳しくはこちら



Visite de villages et cités de charme 魅惑の村や町を訪ねる

オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方には魅力的な町や村が点在しています。まず始めにリヨンから数キロの中世の町ペルーージュ Pélouze。映画のロケにもよく使われ、「フランスの最も美しい村」のひとつです。ヴィシー Vichyはベル・エポックの建築と効能のある温泉が魅力です。2021年にはユネスコの世界遺産にも登録されています。もうひとつぜひ行きたい温泉はエヴィアン・レ・バン Evian-les-Bains。おいしい空気と典型的なフランスの山のライフスタイルに浸りましょう。アヌシー Annecyもアルプスのヴェネチアと呼ばれる美しい町。歴史的建造物、運河、名高い湖、小さな通りに中世のアーケードなど見どころは尽きません。アヌシーの旧市街をぶらぶら歩けばタイムスリップしたような気分になることでしょう。

→ 詳しくはこちら



BOURGOIN-JALLIEU
ブルゴワン・ジャリュ

**イタリア代表の
ベースキャンプ地**

イタリア代表チームはブルゴワン・ジャリュで山の新鮮な空気を胸いっぱい吸って理想的なトレーニングができるでしょう!





Tutoyer les sommets du Mont-Blanc et les volcans d'Auvergne モン・ブランの頂上とオーヴェルニュの火山群に親しむ

エギュー・ユ・デュ・ミディ Aiguille du Midiのロープウェイに乗ってアルプスの高い山を目指す! この絶対はずせない体験は1955年から存在し、ヨーロッパ最高峰からの絶景パノラマビューを見せてくれます。無鉄砲な人へのおすすめは「空中への一步 Pas dans le Vide®」とよばれるグラスボトムの展望台。空中に突き出した幅2,5メートルの全面ガラス張りの箱の下は高さ1000メートルに及ぶ何もない空間です。観光を続けるにはモン・ブラン登山電車を利用します。フランスで一番標高の高いアプト式鉄道です。起伏に富んだところが好きな人はマシフ・セントラル(フランス中央山塊)の代表的なピュイ山地火山群へ。ユネスコの世界遺産に登録されています。オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地方の南部に下ればアルデッシュ渓谷の代表的な絶景ポン・ダルク Pont d'Arcがあります。この自然保護区域にあるショーヴェ洞窟 grotte Chauvetでは世界最古とされる洞窟壁画が発見されており、2014年にユネスコの世界遺産に登録されました。

→ 詳しくはこちら



Nice ニース

美を発揮する町

地中海沿いに始まり標高3000メートルの山で終わる絶景を見れば、誰でもすぐニースだとわかります。

この風景の忘れがたい美しさゆえ、地中海風の暮らしの快適さは天の恵みと思えて来ます。おいしくてビタミンたっぷりの料理、椰子の並木、海の波、陽光を浴びながらの散歩。

ラグビーワールドカップの観戦に訪れる人々はこの町の豊かな文化や祝祭的な雰囲気魅了されることでしょう。


試合と試合の間には驚くような発見と甘味な安らぎの時間が待っています。





→ [詳しくはこちら](#)



スタジアムへのアクセス

 環状道路périphériques沿いに駐車場あり。
駐車場からスタジアムは無料シャトルバスで。

 トラム3号線で空港または
Grand Arénasから

 Saint-Jeannet Le Peyron、Plan-du-Var、Aspremont、
Carros、Saint-Jean-Cap-Ferrat、Levens、Venceの
7ヶ所からバス路線あり。

地図と試合日程



試合

- プール C  ウェールズ 対  トーナメント勝者
9月17日(日) 21:00
- プール D  イングランド 対  日本
9月18日(土) 17:45
- プール A  イタリア 対  ウルグアイ
9月20日(水) 17:45
- プール B  スコットランド 対  トンガ
9月24日(日) 17:45

ラグビーワールドカップの一般向けイベント

数多くの華々しく新機軸のアトラクションが用意され、訪れる人はきっと楽しく忘れがたいひと時を過ごせるでしょう！ファンゾーンでは「タッチラグビー」のトーナメント、スピーチができる舞台スペース、近隣から調達した食材を使ったレストランコーナーなどを提供しています。ラグビーに捧げられたこのスペースは、ラグビーファンが情熱を分かち合う場となることでしょう。

→ 詳しくはこちら

試合前



La savoureuse cuisine « Nissarde » 風味豊かな「ニッサルド」料理

郷土色豊かな本物のニース料理は国の無形文化遺産に指定され、訪れる人の舌を楽しませてくれます。その独創的な味わいを知るには「ニッサルド料理 Cuisine Nissarde」の認証付きレストランへ行きましょう。この権威ある認証制度は、毎年高品質かつ伝統的レシピを遵守していると認められたレストランやスナック、テイクアウトの店に授与されています。典型的なニース料理はパン・バナヤ(野菜、卵、ツナなどを挟んだサンドイッチ)、肉入りラビオリ、ニース風サラダ、フダンソウのパイ、ピサラディエール(玉ネギとアンチョビーのパイ)、メルダ・ディ・カン(ポテトとフダンソウを丸めて揚げたもの)、ニョッキ、バルバジュアン(フダンソウとチーズのパイ包み揚げ)など多数あります。

→ 詳しくはこちら



NICE ニース

**スコットランド代表の
ペースキャンプ地に**

スコットランド代表チームのトレーニングはニースで行われます。
彼らを歓迎して太陽もいっそう輝いてくれることでしょう!



Le cœur de la ville, patrimoine de l'UNESCO ニース中心部がユネスコの世界遺産に

市中心部の大部分が「ニース、リヴィエラの冬季保養都市」として2021年ユネスコの世界遺産の仲間入りをしました。この登録で、ニースの建築、風景、都市整備がヨーロッパと地中海の文化・歴史の影響の比類ない融合として、その普遍的な価値を認められたこととなります。

→ 詳しくはこちら





Plus de 300 jours de soleil par an 年に300日以上の日照

ニース・コートダジュールでの暮らしは快適です。太陽がその姿を隠すことは殆どありません！
野外活動はスポーツ上級者でも初心者でも存分に楽しめます。そしてそれは海岸でも山の頂上でも。水上スポーツ、ダイビング、岩登り、ハイキング、サイクリング、トレイル、ジップライン、乗馬で散策、キャニオニング、洞窟探検、ヴィア・フェラータ… 都市と自然が隣接する環境では、実に多種多様な冒険が可能です。

→ 詳しくはこちら

試合後の楽しみ

Ma Nolan's Irish Pub マ・ノランのアイリッシュパブ

マ・ノランのアイリッシュパブでは、ラグビーファンは典型的なアイルランドの雰囲気の中で試合の中継を楽しめます。ライブコンサートが開かれることもあり、いつもいきいきと活気づいています。店の親切なスタッフは、そんな楽しい雰囲気の中、伝統製法のビールやアイルランドらしい料理の数々をすすめてくれます。



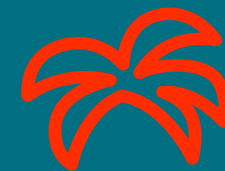
→ 詳しくはこちら

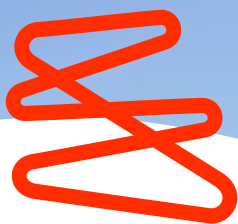


L'Ovale オーヴァル

オーヴァルは主に地元の小規模な生産者から仕入れた新鮮な食材を提供しています。南西フランスのビストロを思わせる料理はフォアグラ、鴨肉、カスレ…その他いろいろ。試合のある夜はおすすです。楽しい雰囲気のもと、店の巨大スクリーンで観戦できるのです。

→ 詳しくはこちら





Marseille マルセイユ

トライが決まり形勢逆転したように
大胆な変化を遂げた都市

マルセイユはフランス最古の都市ですが、スポーツに親しみ、持続可能で本物志向の生活様式を守っているという点では、最も現代と調和した都市ともいえます。

マルセイユは訪れる人にいくつもの違った顔を見せてくれるので、町を歩けば何回も違う旅行をしているような気分になるでしょう。歴史地区のル・パニエにはイタリアの面影があり、カラंकでは小湾が連なる壮大な眺めと地中海のトルコブルーの水、もう少し足を延ばせばヨーロッパ地中海文明博物館Mucem。これはマルセイユがヨーロッパ文化首都だった2013年に建てられたものです。

伝統的なお店の数々も魅力的です。石鹸、ナタネ、オリーブ油、パステイス。そしてシンプルでボリュームのあるマルセイユの美食もお忘れなく。



→ 詳しくはこちら

地図と試合日程

スタジアムへのアクセス



北からの高速道路はVieux Port(旧港)出口で下り、東からの高速道路はCentre-Ville(市中心部)出口で下りてLa Plage(海岸)方向へ。駐車場はOrange VélodromeのP0駐車場(Allée Marcel Leclerc通り沿い)



地下鉄2号線：スタジアム4区画のどこの席かで下車駅が違う
Rond Point du Prado下車
Virage Sud区画とTribune Jean Bouin区画
Ste Marguerite Dromel下車
Virage Nord de Peretti区画とTribune Ganay区画



バス19系統 - Castellane ~ Madrague de Montredon,
バス21系統 - Castellane ~ Luminy,
バス41系統 - Rd Pt Prado ~ La Rose,
バス83系統 - Bougainville ~ Rd Pt Prado

高速A7号線

高速A51号線

高速A52号線

高速A55号線

高速A507号線

高速A501号線

高速A50号線

県道D559号線

地中海
コスケールの洞窟
マルセイユ旧港
ヨーロッパ
地中海文明博物館
パニエ地区(歴史地区)
マルセイユ市
中心部
一角獣印
マルセイユ石鹸

STADE VÉLODROME

× → カランク公園

試合

プール D イングランド 対 アルゼンチン
9月9日(土) 21:00

プール B 南アフリカ 対 スコットランド
9月10日(日) 17:45

プール A フランス 対 ナミビア
9月21日(木) 21:00

プール B 南アフリカ 対 トンガ
10月1日(日) 21:00

準々決勝 1 プールC1位 対 プールD2位
10月14日(土) 17:00

準々決勝 3 プールD1位 対 プールC2位
10月15日(日) 21:00



ラグビーワールドカップ一般向けイベント

ファンゾーンに集合。祝祭気分を盛り上げ、楽しくラグビーに親しむ場となります。革新的で環境に配慮したイベントいろいろ。入場無料。

試合前



Un savon aux propriétés magiques 優れた特性を持つ石鹸

マルセイユ石鹸の起源は数千年前のシリアのアレppo石鹸にまでさかのぼります。オリーブ油をベースにした製法がフォカイアの町(マルセイユ)の石鹸の人気の秘密。ナチュラルでヘルシー、肌にもリネン類にもやさしく、すべての年齢層を魅了します。百年変わらぬ機械、同じ作業、同じノウハウで作られ、高い品質と知名度を誇るマルセイユ石鹸は、世界中で愛用されています。

→ 詳しくはこちら



Le charme du vieux Marseille マルセイユ旧市街の魅力

ル・パニエ地区 Panierはフランスで最も古い界限です。すべてはここで2600年前に始まりました…。この必見の場所の懐深くに入り込み、狭い通りをそぞろ歩き、あたりに漂う和気あいあいとしたやさしい雰囲気を楽しみましょう。小さなカフェテラス、色とりどりの正面壁、ストリートアート、デザイナーのブティック、魅力的な小道…。ここはまさに青空博物館。階段の上り下りは少し骨が折れますが、そこで出会える住民の地中海的な率直さや大海原の美しさに疲れも吹き飛ばすことでしょう。

→ 詳しくはこちら



Calanques, yoga et crustacés カラंक、ヨガ、甲殻類

マッシフ・ド・カラंकはマルセイユとカシの間の険しい岩壁が織り成す絶景。小石と細かい砂のビーチ、数々の小さな湾、トルコブルーの水、生物多様性の宝石箱は絵のような風景を見せています。太陽と遊び、海に向かってヨガをし、海底探検をし、カヤックなどの水上スポーツに没頭するのに、ここは絶好の場所です。ハイキング好きな人も、ただ自然と涼しげな水を楽しみたい人もこの景勝地にはきっと大満足することでしょう。

→ 詳しくはこちら



試合後のお楽しみ

Le Red Lion ル・レッドライオン

ル・レッドライオンはマルセイユで絶対行くべきお店! 日が暮れ始めると皆がここに集まってビールを飲み、地中海に沈む夕陽を眺めます。ここでのマストは? 通りを横切って「マルセイユ式に」芝生に落ち着くこと。

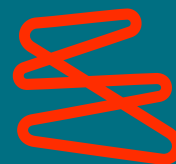
→ 詳しくはこちら



Miramar ミラマール

ミラマールは旧港に面した高級レストラン。ここからはノートルダム・ド・ラ・ガルド教会の全貌をささげるものなく見渡せます。この店では「本当のブイヤベース」を味わえます。地中海の数種類の魚で作った美味なスープはマルセイユを代表する料理です。

→ 詳しくはこちら



足をのばして



PROVENCE-ALPES-CÔTE D'AZUR プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方

まばゆいキックオフ

プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方はラグビーワールドカップ フランス大会ではキーとなる役割を果たします。全48試合のうち準々決勝2試合を含む10試合がここで行われるのです。試合には50万人の観戦客と、世界175カ国から数百人の取材陣が訪れる予定です。

ニース=コートダジュールとマルセイユ=プロヴァンスの2つの代表的なスタジアムを有するプロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方は、2023年のラグビーワールドカップで素晴らしい舞台を提供することを約束します。ニースはスコットランド代表チームのベースキャンプ地で4試合が行われる一方、マルセイユでは準々決勝2試合を含む6試合が行われます。両都市は互いに近く、それぞれの国際空港

から全世界とつながるとともに、地方の公共交通網も充実しています。プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方は、ワールドカップ観戦に訪れる人によくをお見せすることができます。まずはトゥーロン、ラグビーの歴史の殿堂であり、南アフリカ代表チームのベースキャンプ地。エクス・アン・プロヴァンスには完成したての超モダンなラグビー専用キャンパス。コートダジュールでは、スポーツが盛んで90年前に水上スキーが誕生したアンティープ=ジュアン・レ・パン。さらにはリュベロン、プロヴァンスのハートと呼ばれるスローツーリズムのパラダイス。ここはウルグアイ代表チームのベースキャンプ地アヴィニオンからほんの数キロメートルです。

→ 詳しくはこちら



La culture méditerranéenne, du champ à l'assiette 地中海文化、畑から食卓まで

明るい青空の下に広がる露天市であれ、屋内の食品市場であれ、地方のマルシェは目も舌も楽しませてくれます。最もよく知られているのはニース、アンブランEmbrun、アヴィニオン、トゥーロン、さらにはサン・レミ・ド・プロヴァンスなど。商品台の上に並ぶのは庭のフレッシュハーブ、太陽をいっぱい浴びた果物、朝摘みの野菜、農家の自家製チーズ。トゥルトン(ポテトとチーズのパイ包み揚げ)、ピサラディエール、その他の土地の名物はその味と香りでアペリティフタイムを彩ります。もちろん郷土のワインもお忘れなく。ここに昔からある品種のブドウから高級銘柄や希少なワインが作られます。ロゼワインはプロヴァンスで生まれ、今ではこの地方のワイン生産量の90%はロゼ。夏には特におすすめです。

→ 詳しくはこちら



L'art ancien et l'art nouveau sous le soleil 輝く太陽の下、芸術は昔も今も

南仏では芸術はいつの時代も大切にされてきました。コスケールの洞窟とその木炭壁画は3万年以上前のもの。また「不思議の谷 Vallée des Merveilles」の石の彫刻も5000年前の作品です。プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方は常に芸術家たちを惹きつけて来ました。ゴッホ、ピカソ、セザンヌ、マティス、シャガールは南仏の比類ない陽光と無限のパレットのような風景の虜になっていたのです。ワイナリー、見事な庭園、私立の財団などが、ジャウメ・プレンサからルイズ・ブルジョワまで著名な現代のアーティストの作品を展示公開しています。ニース、トゥーロン、マルセイユでは毎年新たなストリートアートの作品が登場し、ロックヴェール(Roquevaire)の陶器で装飾された「絵を描く女性の家 Maison de celle qui peint」や、世界遺産にも登録されたル・コルビュジエの集合住宅 Maison Radieuseには世界中から人々が押し寄せます。ちなみにこの集合住宅についたあだ名は「気がふれた者の家」Maison du Fou。南仏オクシタン語のfat(妖精に触れた者=阿呆)から来たようです。

→ 詳しくはこちら



L'été indien en France フランスでインディアンサマー

ローヌ川のデルタからマントンまで835キロにわたる海岸線には、ひっそりとした湾や秘密の小湾、いくつかのビーチがあって大海原を見つめています。シンプルな海水浴から素潜りやマリンドIVINGまで、地中海はどんなスポーツにとっても絶好の場所です。内陸部でも湖で水上スキー、水上自転車、手漕ぎボート、海風を推進力にカタマラン(双胴船)で水上散歩などを楽しめます。2024年のオリンピックに参加するスキッパーは、すでにセール・ポンゾン湖(lac de Serre-Ponçon)でトレーニングを積み、マルセイユ湾での対戦に備えています。

→ 詳しくはこちら



TOULON トゥーロン 南アフリカ代表の ベースキャンプ地



トゥーロンは南アフリカ代表を迎え入れます。この海辺の町にはヨーロッパで最も美しいといわれる停泊地があるほか、伝説の競技場スタッド・マイヨールを有するラグビーの町でもあります。

→ トゥーロンについて詳しくはこちら

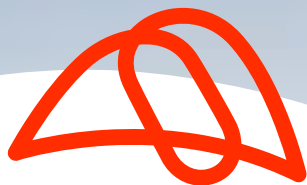


AVIGNON アヴィニオン ウルグアイ代表の キャンプ地



古い歴史を持ち、活気あふれる魅力的な南仏の町アヴィニオンは、ウルグアイ代表チームにやさしい暮らしを提供します。

→ アヴィニオンについて詳しくはこちら



Toulouse トゥールーズ

ラグビーこそが最前線!


南西フランスではラグビーは単なるレジャーをはるかに超えた存在です。これぞまさに人生の哲学ともいえるほど。トゥールーズ市の中心部は、大きな国際試合や、地元の町同士の対戦、そしてラグビーフェスティバルなどで一年中賑わっています。フランスのラグビー精神にどっぷり浸るには理想の場所といえるでしょう!歴史遺産の面でも「バラ色の町」とよばれるトゥールーズは染料植物パステルがもたらした富で建てられた見事な建築で知られています。この町を訪れる旅人を、3つの世界遺産やルネサンス時代の美しい邸宅群を含む素晴らしい装飾が迎え入れてくれます。お祭り気分とおいしいもので満ち溢れた町でもあり、カスレ（豆と肉の煮込み）、フォアグラ、鴨のロースト、そしてオクシタニー自慢のワインがトゥールーズの夜を彩ります。




→ 詳しくはこちら


地図と試合日程

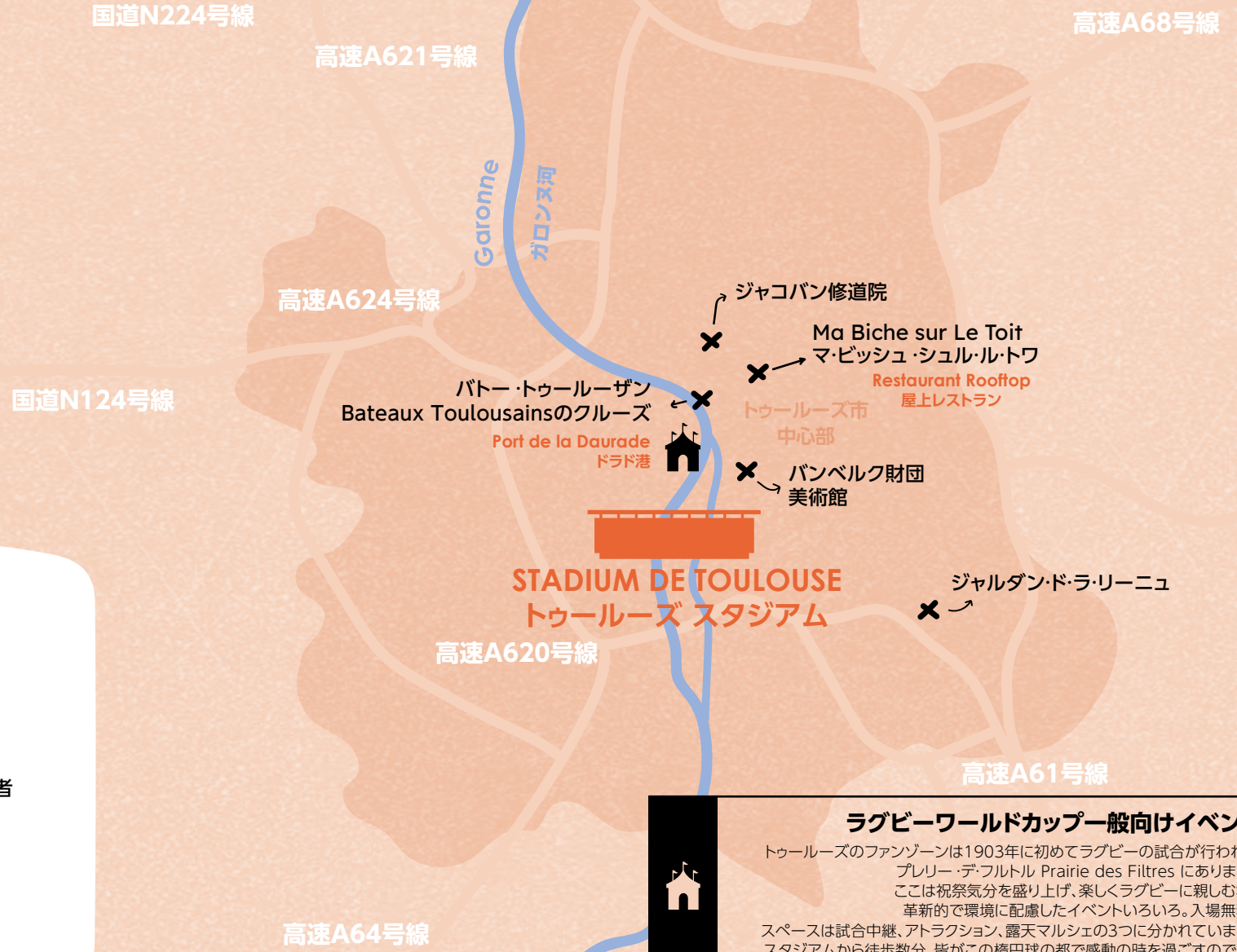
スタジアムへのアクセス

 24番出口« Empalot »を出て
Île du Ramier(ラミエ島)方面へ(駐車場6カ所)
Stadium Municipal de Toulouse トゥールーズ市営スタジアムへ

 トラムT1線Croix-de-Pierre下車
スタジアムまで徒歩5分

 地下鉄B線Empalot、Palais de Justice、
St Michel - Marcel Langer下車
いずれの駅からも徒歩約10分

 **無料シャトルバス:**
トラムT1線Arènes停留所から出発
(始発は試合の2時間前、試合終了後は
復路便を1時間運行)



試合

- プール D  日本 対  チリ
9月10日(日) 13:00
- プール A  ニュージーランド 対  ナミビア
9月15日(金) 21:00
- プール C  ジョージア 対 予選トーナメント勝者
9月23日(土) 14:00
- プール D  日本 対  サモア
9月28日(木) 21:00
- プール C  フィジー 対 予選トーナメント勝者
10月8日(日) 21:00



ラグビーワールドカップ一般向けイベント

トゥールーズのファンゾーンは1903年に初めてラグビーの試合が行われた
プレリー・デ・フルトル Prairie des Filtes にあります。
ここでは祝祭気分を盛り上げ、楽しくラグビーに親しむ場。
革新的で環境に配慮したイベントいろいろ。入場無料。
スペースは試合中継、アトラクション、露天マルシェの3つに分かれています。
スタジアムから徒歩数分、皆がこの楕円球の都で感動の時を過ごすのです。

→ 詳しくはこちら

試合前



L'esprit joyeux du sud-ouest 南西フランスの陽気なエスプリ

比類ない歴史遺産、豊かな文化、陽気な気質、これらを巧みにミックスしたのが、この南仏の美しい町トゥールーズです。オクシタニー地方では美食も重要な位置を占めています。それが何より証拠には、非常に多種多様な土地の産物がレストランのメニューや市場の商品棚を賑わしています。ここで味わえるおいしいものといったらピレネーのチーズ、郷土名物のハム・ソーセージ、品質には折り紙つきの食肉、さらには太陽をいっぱい浴びて可能な限りの自然農法で作られた野菜や果物。もしワイナリーを訪ねるなら、この地方の生み出す美酒のテイस्टィングは必定了。

→ 詳しくはこちら



Une visite à ciel ouvert 青空の下で町を探索

バラ色の町を自由気ままに、あるいはガイド付きで歩いてみれば、町の魅力的な特徴がよく見えてきます。歴史遺産の発見と新たな体験の両方をお望みなら、オープンカーのミニバスもぜひお試しを!車両の右にも左にも、通りごとにトゥールーズが2000年の歴史の中で受け継いで来た遺産が姿を現します。西ゴート族の都、異端のカタリ派征伐の十字軍の郷、芸術や文学を愛し、染料植物パステル交易の中心地、航空宇宙探索のパイオニア、トゥールーズの町は見る人を驚嘆させる魅力に事欠きません。

→ 詳しくはこちら



TOULOUSE トールーズ

**日本代表の
ベースキャンプ地**

日本代表チームのトレーニングはトゥールーズで行われます。
ラグビーを熱烈歓迎する方法がここにもうひとつ!



COULEUR DU MONDE
RUGBY CUP
FRANCE 2023
CAMP DE BASE
EQUIPE



L'ambiance unique des bords de la Garonne ガロンヌ川の岸辺は独特の雰囲気

トゥールーズではガロンヌ川ミディ運河の岸辺は驚くほど眺めのよい場所として知られています。そこはまた寛ぎと和やかな出会いの場でもあり、夏は水の流れに涼を求める人々で賑わいます。手漕ぎボート、解説付きクルーズ、カヤック、パドルボードなどさまざまな水上アクティビティも楽しめます。

→ 詳しくはこちら



試合後のお楽しみ

Maison Good メゾン・グッド

メゾン・グッドMaison Goodは和やかな分かち合いの場。ここではファッション界や音楽界、そしてスポーツ界の人々がおいしい一皿を囲んで集います。シェフは地元産の食材を使ってSud de France (南フランス) 産の認証が付けられた繊細でバラエティ豊かな料理を提供しています。何より重視されるのは品質の良さと近場からの食材調達。この店とラグビーの関係は？ 実は共同オーナーのひとりがスタッド・トゥールーズの看板スタンドオフでフランス代表にも選ばれたロマン・ヌタマックなのです。

→ 詳しくはこちら



J'GO ジーゴ

ジーゴ J'GO の料理はこの地方の花形食材から作られています。タルブ Tarbes のインゲン、ビゴール Bigorreの黒豚、ピレネーの有機農法の子羊、ジェール Gers 県の農家で育てた鶏、ランド Landes 地方のIGP (保護地域表示) の肥鴨、地方産の野菜や果物などです。店で使うのは半径180キロ以内でとれた新鮮な食材。ジーゴ方式では食肉は1頭買い、野菜は厳選した農家から適正価格で直接仕入れた新鮮なもので、すべてレストラン内で食肉業者、野菜栽培者、料理人が準備します。

→ 詳しくはこちら



足をのばして



驚くほど変化に富んだ風景

オクシタニー地方では、海、山、田舎に都会とその風景のバラエティに驚かされます。ひとつの環境からもうひとつの異なる環境へは車でほんの数時間の距離です。この魅力的な地方をよく知るにはスローモードで行くのが一番です。ひとつひとつの風景のニュアンスを感じ取り、豊かなローカル文化に浸りきるのです。オクシタニーのライフスタイルや暖かな共有感、そしておもてなしの精神は表面だけのものではありません。この地方の住民はお国訛りやお祭り感覚、陽気さでよく知られています。訪れる人はその環境の美しさとともに、ここで暮らす喜びも感じられることでしょう。

オクシタニー地方は環境配慮に優れたビーチや港について認定される制度「パヴィ

ヨン・ブルー」を授けられた場所がフランスで最も多いエリアです。これは持続可能な観光のための政策を常時とっていると認証するもので、オクシタニーでは広大なビーチで安全安心な海水浴が楽しめるのです。この地方では昔ながらの漁港や小さな村々とともにビーチの美しさにも魅了されることでしょう。山に目を転じれば、南にはピレネー山脈が3000メートル級の峰々を連ね、東と北にはマシフ・サントラル（中央山塊）がその雄姿を現します。オーブラック台地 Aubrac やセヴェンヌ山地 Cévennes の山々は標高1000から1500メートルに達しています。

→ [詳しくはこちら](#)



MONTPELLIER モンペリエ

サモア代表 ベースキャンプ地

アートの町、文化活動で沸き立つ町モンペリエは
サモア代表チームのトレーニング地となります！



→ [モンペリエについて詳しくはこちら](#)



Des crampons à l'assiette 相棒をスパイクから皿に変え

ナルボンヌにはフランスで最も美しい屋内市場のひとつレ・アール・ド・ナルボンヌがあります。この市場の色彩と香りと賑わいにはナルボンヌの町とその住民が映し出しています。その中でジル・ベルゾン Gilles Belzonのレストラン「シェ・ベベル Chez Bébelle」は遠回りしてでも立ち寄る価値のある店です。ベルゾン家は親子3代にわたるラグビーマン。彼らが開業したグリルバーでは料理のラグビー試合で盛り上がります。「ベベル」では市場への注文はメガホンで伝えられ、きれいに包装した肉が投げ入れられるのをラグビーのバックローの如くに受け取るのです。もっと伝統的スタイルがお好み？ それなら「メゾン・ベベル」へ行きましょう。レ・アールの向い側、旧修道院の中にあります。

→ [詳しくはこちら](#)



Un fabuleux voyage en train とびきりの旅は列車に乗って

オクシタニー地方の旅は横道を通る列車でどうぞ。トゥールーズからコリウール Collioureまでヴェルメイユ海岸 Vermeilleの横を通って行くのです。急いでいるならナルボンヌ Narbonneまで行ってコリウール Collioureに向かいます。ラトゥール・ラ・カロール Latour-de-Carolでの乗換えはこの旅のハイライト。なぜならここから黄色の地方列車、通称「カナリア Canari」に乗るからです。100年以上前から走るこの列車からは、何一つささぎの無い絶景が見られます。3時間の旅で出会える眺めのすばらしさは言葉では表せません。下に何も無い空中を飛ぶような箇所がちよくちよくあるのですから。

→ [詳しくはこちら](#)



Un archipel au coeur des Pyrénées ピレネー山中の列島

ネウヴィエイユ Néouvielleの国立自然保護地区はくねくねした道を通って行くことができます。花崗岩の尖った峰々と、松の木や70の湖沼が点在する牧歌的な風景とのコントラストは驚くほどです。緑とターコイズブルーに囲まれて歩くハイカーの周りには松の木が標高2600メートルまで群生しています。これはヨーロッパで松が自生する標高として最も高い場所です！動物分布にも驚くべきものがあります。ピレネーの「ユプロクト Euprocte」は恐竜時代から現代に迷い込んだようなイモリ的一种。それがキツネやマーモットやその他いろいろな種の動物と共存しているのです。峠伝いに谷から谷へ、山の小道をたどって山小屋から山小屋へとネウヴィエイユ制覇は続きます。全部で5軒の山小屋があるおかげで、軽いハイキングを何日も続けて自然保護地区を環状に一周できるのです。

→ [詳しくはこちら](#)





Bordeaux ボルドー

巧みな変貌を遂げた町

ボルドーといえば上質なワインと美食、見事な歴史遺産、街中の雰囲気よさ、そして文化の盛んなことで知られています。町はその面積の半分以上がユネスコの世界遺産に登録されています。

町のリノベーションとトラムの開通でボルドーはいつそう住みやすく、また環境に配慮する町になりました。観光は徒歩か自転車で、持続可能かつリラックスできる場所を回しましょう。ダーウィン Darwin (エコロジーに特化した施設) やガロンヌ川沿いのアンジェリック・パーク Parc aux Angéliquesなどがおすすめです。

ラグビーワールドカップの機会には、観戦前や観戦後の時間の過ごし方としてたくさんのチョイスをご用意しています。町の雰囲気とともにさまざまなアクティビティもぜひお楽しみください。



→ [詳しくはこちら](#)

スタジアムへのアクセス

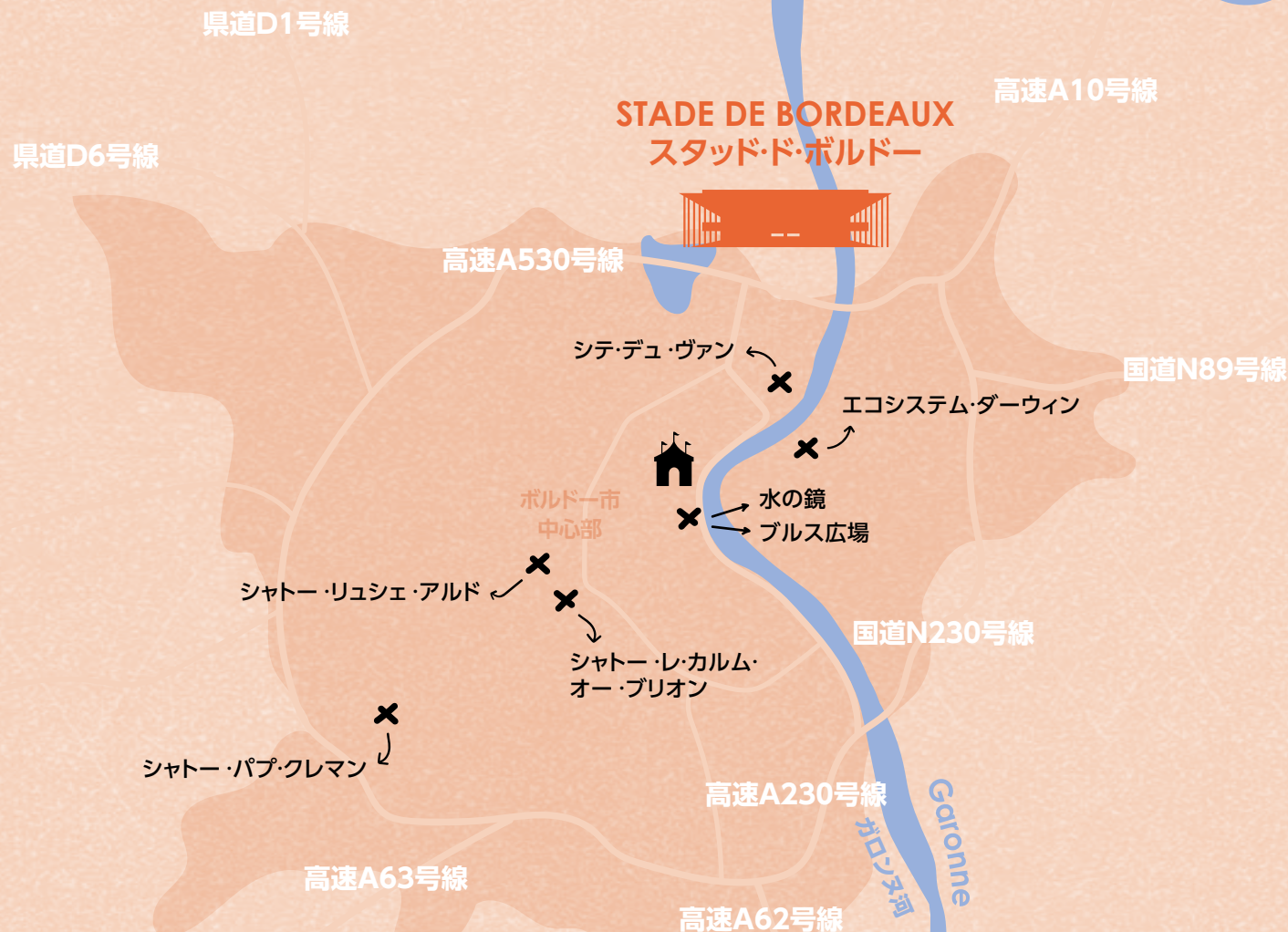


ボルドーバイパスla Rocade de Bordeaux
(高速A10、A63、A62号線)から
4Aまたは4C出口



B号線Berges de la Garonne下車または
C号線Parc des Expositions下車

地図と試合日程



試合

- プール B アイルランド 対 ルーマニア
9月9日(土) 15:30
- プール C ウェールズ 対 フィジー
9月10日(日) 21:00
- プール D サモア 対 チリ
9月16日(土) 15:00
- プール B 南アフリカ 対 ルーマニア
9月17日(日) 15:00
- プール C フィジー 対 ジョージア
9月30日(土) 17:45



ラグビーワールドカップ一般向けのイベント

出会いと交流の場、祝祭を通じた社会的つながりの場として構想されたファンゾーンは、サポーターだけでなく地域住民の皆に開かれた場所です。この村が重視するのは、持続可能な経済と関連して、環境への影響を抑えた消費を選択すること。

→ 詳しくはこちら

試合前



L'art de vivre à la bordelaise ボルドー式人生の楽しみ方

南西フランスの中心都市ボルドーはいきいきとした祝祭ムードにあふれる町。それはワインにも美食にも求められます。町の中心部は歴史遺産や文化遺産の宝庫であると同時に、商業や観光の中心でもあります。町が催す楽しいイベントには住民も観光客も分け隔てなく参加して、ボルドー式人生の楽しみ方をともにするのです。

→ 詳しくはこちら



La Cité du Vin ワインの総合施設「シテ・デュ・ヴァン」

シテ・デュ・ヴァンには常設展示スペースがあり、五感を使う没入形の展示によりさまざまな文化と時代を通じてワインを多面的に知ることができます。他にも特別展やエンターテインメント、イベントなどが一年中開催されています。レストラン、カフェ、ブティックもあり、観戦の合間のお出かけにはうってつけです!高いところへ行きたければ、7階(日本式には8階)の展望台からは町の全貌が見渡せます。

→ 詳しくはこちら





Les châteaux viticoles ワイナリーシャトー

ボルドーの中心部からほんの数分、町の出入口の周辺にはいくつもの見学可能なシャトー（ボルドーのワイナリー）があり、公共の交通機関（トラムと市バス）や自転車でアクセス可能です。ボルドーからは5つのワイン街道が出ています！現代的な酒蔵や歴史ある建物をめぐらううちに、極上のワインのコンセプトや独自の性格が見えてきます。こうした都市のブドウ畑散策は歴史と自然とテイスタングが渾然一体となったすばらしい体験になることでしょう。

→ 詳しくはこちら

試合後のお楽しみ

南西フランスの産物を味わいながらお祭り気分でラグビー観戦をしたければ、アール・ド・バカランへ。ラグビーワールドカップの全試合の中継が見られます。ローカルな雰囲気の中で地元のおいしいものを食べるなら、ここに勝る場所はありません。



Le Zéphirine ル・ゼフィリーヌ

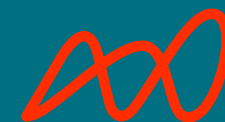
都会のオーベルジュ（レストラン）、グルメのカウンター（テイクアウト）、そして今風に見直した家族伝来のお菓子。それがル・ゼフィリーヌの提供しているものです。兄がシェフ、妹夫婦と家族で経営する店です。ゼフィラン（シェフの曾祖父）から伝わる基本精神は、家庭の現代風再発見。和気あいあいとした家族的な雰囲気は、楽しい時を分かち合い、交流し、感動する場としての食事の大切さをよく表しています。

→ 詳しくはこちら

La Belle Saison ラ・ベル・セゾン

試合のある夜は、エコシステム・ダーウィンを散策した帰りにでもちょっと寄り道をして、ラグビー文化に浸りきれられるボルドーの店へぜひ出かけましょう。ザ・コネンマライリッシュクラブ the Connemara Irish Club、ザ・ブラーニーストア the Blarney Stone、あるいはザ・ハウス・オブ・パーリアメント the House of Parliament など。熱い雰囲気の中でテレビ観戦すれば、点が入るたびに聴衆はいやが上にも盛り上がります。そうしてお腹がすいたサポーターたちが次に行くのは、ガロンヌの河岸のラ・ベル・セゾン Belle Saison、元ラグビーフランス代表のジェローム・フィヨル Jérôme Fillol が経営するレストランです。シェフがこの地方で最高の生産者たちから直接仕入れた季節の食材でおいしい料理を出してくれます。

→ 詳しくはこちら



足をのばして



NOUVELLE-AQUITAINE ヌーヴェル・アキテーヌ地方

さまざまな魅力が がっちりつまった場所

ヌーヴェル・アキテーヌ地方は大西洋岸、ランドの森林、ピレネー山脈、ブドウ畑、数々の台地と河川と大きな湖を擁する総面積8万4000平方キロ、フランス最大の地方です。これらのダイナミックなコントラストの中に本当のフランスの姿を見出し、インスピレーションを得られる人も多いことでしょう。浜辺では風に髪をそよがせ、サーフボード片手に荒々しい海の空気を求め、内陸部では文化や手工芸に親しむ。地方内のどの都市も訪れる人を暖かく迎えてくれます。ボルドー、ビアリッツ、バイヨンヌ、ラ・ロシェル、リモージュ、ポー、ポワティエにコニャック。どの町もそれぞれの手法でこの黄金郷を豊かに彩っています。歴史的文化的な見どころとしてはオービュッソン Aubussonの国際タピストリーセンター、オラドゥール・シュル・グランヌ Oradour-sur-Glane のメモリアルセンター、ドルドーニュ渓谷のラスコーの洞窟、あるいはまたボルドーのデジタルアートセンター「バッサンド・リュミエール Bassins de Lumières (光の係留池)」。これらはいずれも必見です。この美しい地

方では、持続可能な観光が優遇されており、100%環境に配慮したバカンスにおすすめのラベル付き宿泊施設も幅広い選択肢があります。ここではアウトドアスポーツは生活の一部。気候が良く海にも近いおかげで、一年中好きなスポーツが楽しめます。この地方の歴史と文化を豊かにするラグビーには特別な地位が与えられています。ラグビークラブの数の多さ、この伝説のスポーツに青少年が抱く情熱を、訪れる人はすぐに感じ取れるでしょう!

ラグビーワールドカップは多くのスポーツ好きな観客を集め、彼らは存分にこのスポーツの祭典を盛り上げてくれるにちがいありません!


→ 詳しくはこちら



Savoir-faire classés au patrimoine mondial de l'UNESCO ユネスコの無形文化遺産にもなった匠の技

コニャック、磁器、バスクのベレー帽、タピストリー。ヌーヴェル・アキテーヌ地方はその手工芸の創造性で知られています。こうしてリモージュはその磁器工芸と炎の芸術により「ユネスコ創造都市」に認定されました。またオービュソンはタピストリー芸術で世界的に知られています。その他のすばらしいものを見つけるなら「テラ・アヴァンテュラ Terra Aventura」のアプリで目先の変わった宝探しをしてみましょう。このアプリはとりわけヌーヴェル・アキテーヌ地方の新奇なノウハウをめぐる行程を提供してくれます。料理の世界に没入すれば、マレンヌ・ドレロン Marennes d'Oléronの牡蠣、エスプレット Espeletteの唐辛子、バイヨンヌ Bayonneの生ハム、リムーザン Limousin地方のビーフ、アジャン Agenの干しプラム、ペリゴール Périgordの胡桃などを味わえます。


→ 詳しくはこちら



ÎLE DE RÉ - LA ROCHELLE
レ島 - ラ・ロシェル

**ジョージア代表の
ベースキャンプ地**

ジョージア代表チームは恵まれています!レ島は海と向き合っ
て新たな活力を得たい人には夢の地なのですから。



→ レ島 - ラ・ロシェルについてはこちら



Sites remarquables et insolites 傑出した新奇な見どころあれこれ

ボルドーの中心街は都市形の世界遺産の中では面積が最大。ガロンヌ川右岸のエコロジーに特化した施設「ダーウィン」も注目です。ヌーヴェル・アキテーヌ地方には、他にも充実した常設展を持つ多くの美術館・博物館や、ユネスコの世界遺産に登録されているような必見の歴史遺産が数多くあります。ラスコーの洞窟やサントのガリア=ローマ時代の遺跡などがそれです。

→ 詳しくはこちら



Une échappée sur terre, sur l'eau ou dans les airs 息抜きの小旅行は地上、水上、あるいは空中へ

変化に富んだ地形のヌーヴェル・アキテーヌ地方では、実に多種多様な野外活動が可能です。ピレネー山脈でスキー、大西洋に面したバスク地域でゴルフやサーフィン、ポワトゥーの沼沢地やドルドーニュ渓谷でカヌー、大西洋岸のサイクリングロード「ヴェロディッセ (Vélodyssée)」で自転車、さらには「三銃士」のダルタニャン (d'Artañan) のルートを馬で散策。瞑想にふけるのが好きならば、ミルヴァッシュ地方自然公園 (Parc Naturel Régional Millevalches) は国際星空保護区に指定されています。

→ 詳しくはこちら





Nantes ナント

勝利を収めたトライ

ナントはファンタジーを紡ぐ町。訪ねれば超絶体験もしばしばです。ロワール河岸の美しい町を巨大な機械仕掛けの象が歩いています。ときに観光客たちを背中に乗せ、両脇を歩く人々に鼻で水を吹きかけながら。


そのすぐ横の造船所跡の敷地に設置された巨大なメリーゴーランドでは、馬の代わりに深海生物に乗るのです。


にわかには信じがたい？ 何をさしおいてもまず確かめに行きましょう！





→ 詳しくはこちら

スタジアムへのアクセス

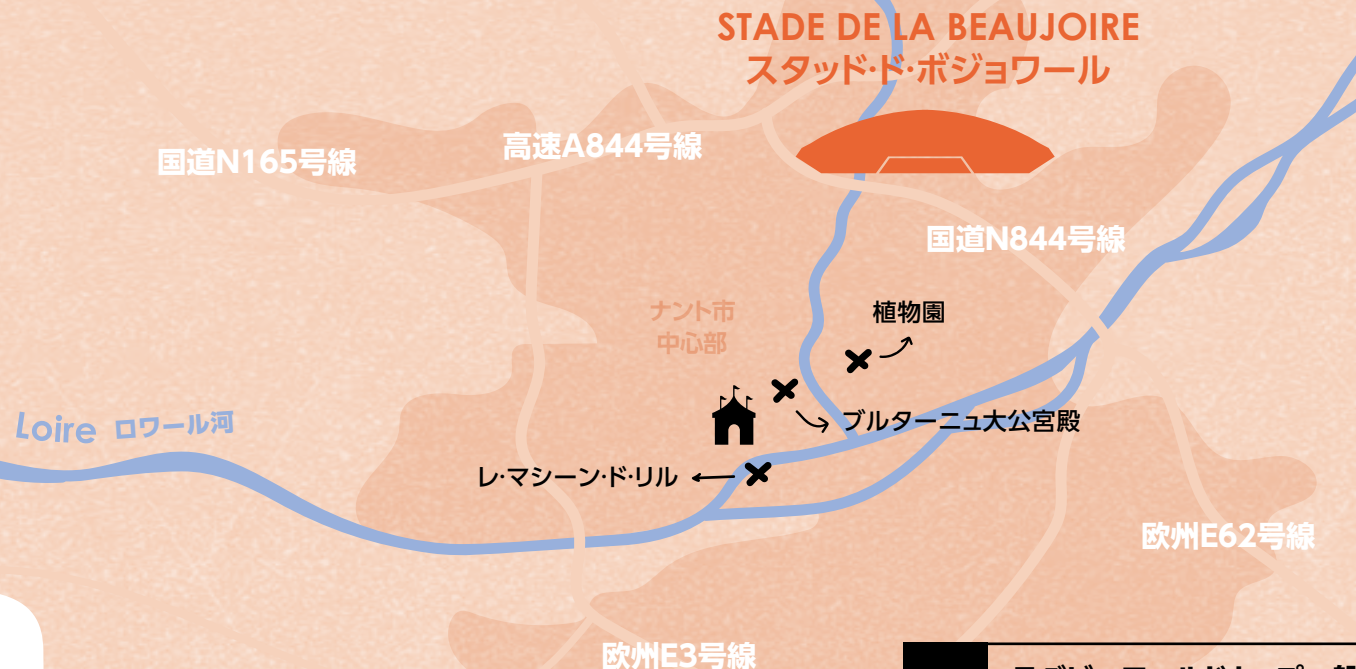
 Porte de la Beaujoire (40番出口) から出る

 1号線 Beaujoire または Ranzay 下車 (終点)



 C1号線、80号線 Ranzay 下車
C6号線、75号線 Batignolles 下車



 スタジアムのすぐそばに無料の二輪車駐輪場あり



地図と試合日程




試合


プール B  アイルランド 対  トンガ
9月16日(土) 21:00


プール D  アルゼンチン 対  チリ
9月30日(土) 15:00

プール C  ウェールズ 対  ジョージア
10月7日(土) 15:00

プール D  日本 対  アルゼンチン
10月8日(日) 13:00

 **ラグビーワールドカップ一般向けイベント**
ファンゾーンに集合。祝祭気分を盛り上げ、楽しくラグビーに親しむ場です。革新的で環境に配慮したイベントいろいろ。入場無料。

 **LA BAULE ESCOUBLAC**
ラ・ポール・エスクブラク
アルゼンチン代表のベースキャンプ地



→ ラ・ポール・エスクブラクの詳細はこちら

高速A83号線



Paris パリ

Saint-Denis サン・ドニ

伝説のプレーヤー

光の都パリは今いっそう魅力を増しています。ミュージアム、見ごたえのある展覧会、歴史的建造物、パリを語る術は数え切れません!

それではボールをワンバウンドでスタートし、パリ発見に向けて突進しましょう。偉大な美術館、見事な美術展、話題の最新スポット…。コンコルド広場の壮麗なオテル・ド・ラ・マリーヌ(旧海軍省本部、それ以前は王室調度保管所)、旧証券取引所(新設の現代美術の殿堂=ピノーコレクション)、あるいは新装成ったサマリテヌデパートとその複合施設(ショッピング、美容、レストラン…)

ラグビーワールドカップ2023で、パリはそのすべての宝を披露し、熱い祝祭が開幕します!







→ [詳しくはこちら](#)



地図と試合日程

スタジアムへのアクセス

-  高速A1の2番出口Stade de France および
高速A86の9番出口Saint Denis - La Plaine Stade de France
-  地下鉄13号線St Denis - Porte de Parisまたは12号線
Aubervilliers - Saint-Denis Front Populaire下車
-  郊外高速電車RER B線La Plaine Stade de France
またはRER D線 Stade de France - St Denis下車
-  トラム1号線 St Denis Basiliqueまたは
8号線 St Denis Porte de Paris下車

試合

- プールA  フランス 対  ニュージーランド
9月8日(金) 21:00
- プールC  オーストラリア 対  ジョージア
9月9日(土) 18:00
- プールB  南アフリカ 対  アイルランド
9月23日(土) 21:00
- プールB  アイルランド 対  スコットランド
10月7日(土) 21:00

準々決勝2 プールB1位 対 プールA2位
10月14日(土) 21:00

準々決勝4 プールA1位 対 プールB2位
10月15日(日) 21:00


準決勝1 準々決勝1の勝者 対 準々決勝2の勝者
10月20日(金) 21:00

準決勝2 準々決勝3の勝者 対 準々決勝4の勝者
10月21日(土) 21:00

3位 準決勝1の敗者 対 準決勝2の敗者
決定戦 10月27日(土) 21:00

決勝 準決勝1の勝者 対 準決勝2の勝者
10月28日(日) 21:00



 **ラグビーワールドカップ一般向けイベント**
ファンゾーンに集合。祝祭気分を盛り上げ、楽しくラグビーに親しむ場です。革新的で環境に配慮したイベントいろいろ。入場無料。



RUEIL-MALMAISON
リュエイユ・マルメゾン

フランス代表
ベースキャンプ地



[→ リュエイユ・マルメゾンの詳細はこちら](#)



VERSAILLES
ヴェルサイユ

ウェールズ代表
ベースキャンプ地



[→ ヴェルサイユの詳細はこちら](#)



ニース ガリバルディ広場



49

のユネスコ世界遺産に
登録された文化財



8000 を超える
美術館・博物館と
45000



近い歴史的建造物に指定され、
保護された建築、公園、庭園

17

の世界的に知られた
ブドウ畑と



739

の原産地保護呼称/
地理的保護表示/原産地管理呼称

フランス の 見どころ

47

の「フランス名勝地」
(うち22は認証ラベル付き)へ



年間3200万人近いビジター

11

の国立公園と



58

の地方自然公園

19000 km

に整備されたサイクリングコース
EUROVÉLOS と VÉLOROUTES NATIONALES

さらに

6000

を超える
「自転車受入れOK」
(アクイユ・ヴェロ Accueil Vélo)
認証付きの施設



開催都市の 地方をめぐる

ラグビーワールドカップ観戦と同時に、
本物のフランス、美しく、
意表をつく国フランスに出会うなら、
試合開催地近くの見どころ一覧は
こちらです。



食とワイン
手工芸



文化と史跡



アウトドア



HAUTS-DE-FRANCE オー・ド・フランス地方



- 1 ル・ブリック・ハウス
Saint-André-Lez-Lille
- 2 ビールバー「シェ・マルセル」
Arras
- 3 キッチンカー「ラ・シュティット・フリット」
Raillencourt-Sainte-Olle
- 4 ノートルダム・ド・ロレット国際メモリアルセンター
「記憶のリング」記念館
Ablain-Saint-Nazaire
- 5 ジャン・ヴァルジャンの足跡をたどるコース
Montreuil-sur-Mer
- 6 アミアン大聖堂
Amiens
- 7 ジュール・ヴェルヌの家
Amiens
- 8 ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ博物館
Château Thierry
- 9 ブレ砂丘
- 10 ル・トゥーケ=パリ=プラージュ、オパール海岸
- 11 モンルーユ・シュル・メール
- 12 メール・レ・バン

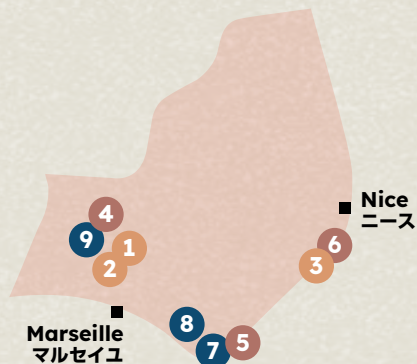


AUVERGNE-RHÔNE-ALPES オーヴェルニュ=ローヌ・アルプ地方



- 1 ボージョレのブドウ畑とワイナリー
美食の渓谷
- 2 ローヌ渓谷-タン・レルミタージュ
Le Fayer
- 3 ドローム・プロヴァンサル
美食の渓谷
- 4 ヴィシーのベル・エポック建築
ユネスコ世界遺産
- 5 美しき中世の町ペルージュ
- 6 郵便配達夫シュヴァルの理想宮
- 7 「アルプスのヴェニス」アヌシー
- 8 極上のウェルネスが叶う
エヴィアン・レ・バン
- 9 オーヴェルニュの火山群
ユネスコ世界遺産
- 10 シャモニー・モンブラン-エギューイユ・デュ・ミディ
- 11 アルデッシュ峡谷とショーヴェ洞窟
ユネスコ世界遺産

各地方での小旅行



PROVENCE-ALPES-CÔTE-D'AZUR プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方



- 1 ワイナリー「シャトー・ラ・コスト」
Puy-Sainte-Réparate
- 2 「ロワ・ルネ」社の
カリソン製菓所と博物館
Aix-en-Provence
- 3 手工芸品のショッピング
Antibes|旧市街
- 4 ラベンダー博物館
Cabrières d'Avignon
- 5 ポルクロール島
- 6 ピカソ美術館
Antibes
- 7 アルマナールAlmanarreのビーチで
カイトサーフィン、ウィングフォイル、ボードセーリング
Hyères
- 8 ファロン山でトレッキング
Mont-Faron
- 9 サイクリング
Robion



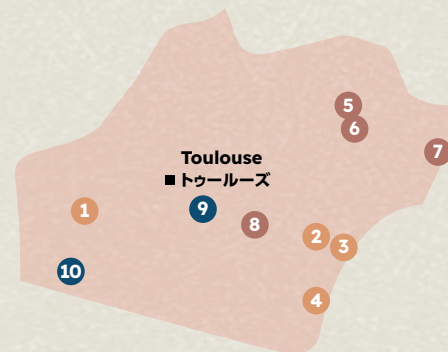
食とワイン
手工芸



文化と史跡



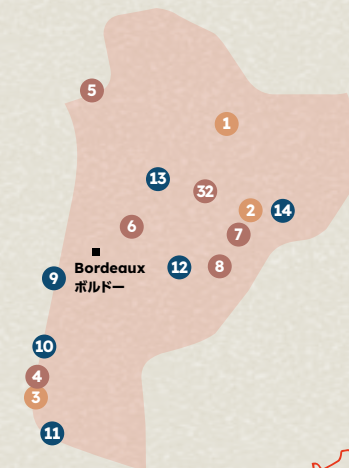
アウトドア



OCCITANIE オクシタニー地方



- 1 ドメーヌ・ド・バルタス・メテリ・デュボン
(アントワヌ・デュボンが経営)
Castelnau-Magnoac
- 2 ラグビー・マインドたっぷりのグリルバー
「シェ・ベベル」
Narbonne
- 3 元ラグビー選手ジェラルド・ベルトラン経営の
ワイナリー「シャトー・ロスピタル」
Narbonne
- 4 木製ラグビーボールほか高級木工細工
オード県Moulin de la Jalousie
- 5 ミヨール大橋
- 6 ロックフォールチーズの産地
Roquefort-sur-Soulzon
- 7 ポン・デュ・ガール
- 8 カルカッソンヌ城塞の街
- 9 ミディ運河
- 10 ピック・デュ・ミディ
Bigorre



NOUVELLE-AQUITAINE ヌーヴェル・アキテーヌ地方



- 1 アドリアン・デュブシェ磁器博物館
Limoges
- 2 ブリーヴ・ラ・ガイアルドのマルシェ
- 3 ビアリッツの屋内市場
- 4 バイヨンヌのラグビー博物館
- 5 ラ・ロシェルの港と塔
- 6 サン・テミリオン - ユネスコ世界遺産
- 7 ラスコウ洞窟
Montignac
- 8 ミランド城(ジョフィン・ベイカーが所有した城)
Castelnaud-la-Chapelle
- 9 ピラ砂丘
Bassin d'arcachon
- 10 ランド地方でサーフィン
- 11 バスク地方ラ・リュージュ山
Ascain
- 12 シャトー・デ・ヴィジエのゴルフ場
Monestier
- フランスの最も美しい村**
- 13 オーブテール・シュル・ドロヌ
- 14 コロンジュ・ラルージュ

フランス観光開発機構 各国支局広報担当

イギリス



スコットランド



アイルランド



ウェールズ



Marine TESTE
marine.teste@atout-france.fr

アルゼンチン



ウルグアイ



Izabèle PESINATO
izabele.pesinato@atout-france.fr

アメリカ



Marion FOURESTIER
marion.fourestier@atout-france.fr
&
Kate SCHWAB
kate.schwab@atout-france.fr

スペイン



Valérie WATINE
valerie.watine@atout-france.fr
Sébastien GRENET
sebastien.grenet@atout-france.fr

イタリア



Barabara LOVATO
barbara.lovato@atout-france.fr

ジョージア
(ロシア支局)



Anastasia KOSTYCHEVA
anastasia.kostycheva@atout-france.fr

ルーマニア
(オーストリア&
中央ヨーロッパ支局)



Gordana MALIC
gordana.malic@atout-france.fr

オーストラリア



Claire NEIL
claire.neil@atout-france.fr

ニュージーランド



南アフリカ



Hélène BEZUIDENHOUDT
helene.bezuidenhoudt@atout-france.fr

日本



Mayumi MASUDA 増田真由美
mayumi.masuda@atout-france.fr

Explore
France™



報道向け画像

当資料で紹介した場所一覧

France.fr

パートナー

地方および都市観光局



bordeaux-tourisme.com



hellolille.eu



lyon-france.com



marseille-tourisme.com



explorenicecotedazur.com



saint-etienne-hors-cadre.fr



toulouse-tourisme.com



nouvelle-aquitaine-tourisme.com



hautetfort-hautsdefrance.com



provence-alpes-cotedazur.com



inauvergnerhonealpes.com



tourisme-occitanie.com



LE FRENCH FLAIR
SE PARTAGE



Explore
France™